

ひやくさい

2011年(平成23年) 10月発行 No.53

福岡県高齢者福祉生活協同組合

〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23

サカタビル2F

TEL (092) 282-1431 FAX (092) 282-1433

発行責任者：理事長 宮田 育郎

編集責任者：ひやくさい編集委員会

Email : ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協 福岡

検索

人と人、組織と組織をつなぐ

機関紙が伝えるもの

八月二十日の「全国広報担当者連絡会議」では、全国二十二の加盟高齢協から十三団体十八名が参加・交流しました。基調講演の松沢常夫労協新聞編集長は「ニュースが活発に出ているかがその組織の活性度であり、民主主義のバロメーター」と、ニュースの果たす役割を強調されました。ニュースの向こうにあること、ニュースを通じて何を伝えたいのか、組合員の暮らしがどうなっているのか、そういう思いが重要と強調されました。

全国の高齢協から学ぶ

各地の機関紙を見ると、地域懇談会から高齢協の組織化をはじめた大阪、地域の見守り活動をしている和歌山など、各地の多彩な活動が新鮮です。新潟の広報紙面づくりも斬新です。埼玉は福岡の活動紹介をしていました。互いに学びあいながら共に発展していきたいと思います。

手をつないで

機関紙は人と人をつなぐとともに組織と組織もつなぎます。会議の中では、全国共通テーマの編集や共通紙面の掲載など、全国の仲間と手をつないでいくことも重要だとの提起もありました。

また、ホームページも今後の広報活動の大切な手段として、新鮮なニュースを伝えていきたいと思っています。

身近な地域から世界へ

隣同士で想いを語り合い、地域の想いを紡ぐ。全国各地の想いを同じくする仲間たちと手をつなぐ。来年二〇一二年は国際協同組合年です。日本だけでなく世界中の仲間たちと手をつないでいく。あなたのお知り合いもそんな仲間の一人として迎えましょう。

(本部事務局 永山 健)

地域の絆の中で

九月の「ふくし生協フェスタ2011」では、私たちの身のまわりの地域、人と人のつながり、絆をもう一度考えるきっかけとなりました。どうしたらより暮らしやすい地域になるのか、より文化的で心豊かな生活になるのか、一人ひとりが声に出していくことが大切です。

秋の組織強化月間にご協力を



2012年は国際協同組合年です
「協同組合がよりよい社会を築きます」



社会保障制度を考える

専務理事 稲月 秀雄

●はじめに…

私たちの生活を支える社会保障の考え方、とりわけ国の責任部分『公助』の方向性をもとに、私たちに必要な準備、そして地域でのつながりを一緒に考えてみましょう。この提起は、厚生労働省のホームページにも載っている資料(注1)に基づいています。資料としては膨大な量ですが、一度みなさんにも目を通してもらって、その上で、今後のことを共に考えてみたいというのが私の本音です。

(注1)

- ① 社会保障制度改革の方向性と具体策
- ② 社会保障・税一体改革
- ③ 平成23年版厚生労働白書

●情勢

3・11東日本大震災から福島原発事故、そして直近では台風15号の猛威が私たちの生活を襲い、その大きな傷あとは、私たちが当り前と思ってきた暮らしその

ものの見直しをするきっかけとなりました。この夏は「脱原発と節電」で、その変化の実感を国民が持ったことに加え、先の傷あとに対して、住民主体の様々な生活再建への取り組みが全国各地でなされていることもよく伝わってきました。

●増税論先行

それに対しての政治は、増税論ありきで、住民主体の動きとは乖離しているような感を受けます。国と地方の借金が国民の金融資産と逆転したということが話題となる中、復興増税をどうするか、そして社会保障財源としての消費税をいつ上げるかなど、こと「お金」に関しての「うちでの小槌」がないことが、いつのまにか当り前の前提として議論が進んでいるように思えて仕方ありません。

●介護・福祉分野

雇用を維持するための社会保障的役割を果たしてきた公共事業も縮小し、雇用情勢の悪化が顕在化し、有効求人倍率も低水準で推移しています。しかしそのような論議にすら置き去りにされるように、私たち介

護・福祉の領域で見ると、全国的にも1・5倍程度の求人があるにもかかわらず、人材不足となっている状況は続いています。

●全世代対応型社会保障

さらに、年金支給問題に対応して定年の延長が必要に迫られている論議と、終身雇用崩壊と若者の就職難が同時に論議されていることにも違和感を受けます。かつて終身雇用と大家族によって支えられてきた見えない社会保障部分をどう総括するのか、人々の生活を支える仕事をどう担保するか、という根源的な改善課題がつきつけられています。

●自助・共助・公助

厚労省が示した「社会保障制度改革の方向性と具体策」では、第一に「自ら働き、自らの生活を支え、自らの健康は自ら維持する」という『自助』を基本とする「こと」が、1980年代からの社会保障の考え方として示されています。そして「生活や健康のリスクを、国民間で分散する『共助』が補完すること」と続き、「自助や共助では対応できない困難に直

面している国民に対しては、一定の受給要件の下で、公的扶助や社会福祉などを『公助』として行う』としています。

●「情報」と「つながり」

この評価や前提としての考え方は様々あると思いますが、ここで大切なのは、自らにどのような社会のつながりがあるのかを問うことではないでしょうか。「社会Ⅱ企業」の中で就労してきて、定年後、地域にもどったときに、無縁社会を実感する例も少なくありません。『自助』のためには情報が必要で、『共助』のためにはつながりが必要です。そして、その両方(情報・つながり)がなければ、『公助』にはつながりません。(少なくとも、私はそう思っています。)

●基本構想2025

このような背景の中、私たちふくし生



協は、目の前の課題を見据えつつ、将来展望の柱となる「基本構想2025」の検討に踏み出しました。私たちの理念『めざすもの』にもとづき、人と人のつながり、地域や諸団体・行政などとの連携を通じて、「地域づくり」に貢献することを使命として取り組んでいきます。

●ゆりかごから墓場まで

地域づくりは暮らしづくりでもあります。福祉を主たる事業とする生協であるふくし生協は、生活丸ごとを支える精神が肝要です。「ゆりかごから墓場まで」…この言葉を改めて、今の社会情勢に照らしたときに、私たちが主体者として実現し、改善すべきものが明確になるのではないのでしょうか。

●大きな安心づくり

ふくし生協の組合員になることによつて「すぐに享受できるメリット」はありません。しかし、「日常より少し多く情勢に興味を持ち、少し多く情報を知り、少し身近な人の役に立てる喜びを共有できる」ようにしたいと思っています。この

「少し」は、言い換えれば「ムリのない、できる範囲で」という意味です。この「少し」を集めて「大きな安心」を一緒につくっていきましょう。

●4つの取り組み

組合員が主人公として「地域づくり」に貢献し、そのことを「生きがいや喜び」につなげる組織ですので、4つの主体的な取り組み(注2)が重要です。

(注2)

- ①活動する…「生きがいや仲間づくりのために」
- ②利用する…「様々な活動の場やサービスを」
- ③仕事をする…「組合員のニーズ・声を反映させながら」
- ④支える…「地域づくり・相談窓口である私たちの拠点を」

●おわりに…

ここに記載した内容は、順序だても不十分で、また日ごろなじまない用語が満載で、わかりにくい部分も多々あると思います。これからも少しずつ表現を工夫して伝えていきますので、よろしくお願ひします。

ふくし生協フェスタ 2011

「心と心の つながりで地域の絆を」

・2011年9月18日(日) 10:30~15:30
・北九州八幡ロイヤルホテル 2F

第一部(午前の部) パネルディスカッション

開会の挨拶(宮田育郎理事長)

人間、年を取ってくると、絆という側面が強く表れるようになり「ああしてもらいたい・こうしてほしい」という願望が我々の気持ちの中にある。その願望を福祉の立場として気持ちを正面から受け止めなければならない。受け止めることが福祉の原点である。また、

九月十八日(日)北九州市八幡東区の八幡ロイヤルホテルにおいて「第二回ふくし生協フェスタ2011」が盛大に開催されました。県内各地の事業所から、地域の組合員さん、役員員ら三三六名が相集い、会場は大いに盛り上りました。



(パネルディスカッションに330余名が参加)

そういう中で人間というのは、楽しさがないといけない。昨年のフェスタで「気持ちを一つにすることが文化である、祭りは文化だ」と話したが、例え一致しなくても、気持ちが融合することが祭りである。祭りは地域の中でも生きていたい。今日は大いに楽しんでもらいたい」と挨拶されました。

続いて、岩手高齢協の藤原理事長を招いて「心と心のつながりで

地域の絆を」がテーマのパネルディスカッションに入りました。

藤原英一さん(岩手高齢協理事長)

三月十一日の大震災に対し多くの支援金や励ましのお言葉誠にありがとうございました。地震と津波で人が作ったものは破壊されましたが、自然は残りました。しかし、福島では誰も住めない様な有様です。福島原発事故の後、放射線被ばくのリスクをかかえ、故郷に帰れない方々のことを考えると心が痛みます。原発反対の声を県生協や被爆者団体と共に訴えていきたい。震災直後の対応として実施した組合員生存確認はとても感謝されました。今まで広報紙を送るだけだったが、近況を確認する作業も必要だと感じました。地域との関係では、グループホームでの被災者の受入れや激励を行ってきたし、炊き出しやボランティア活動にも積極的に参加してきました

笑顔写真 コンテスト 入選作品



熊森御堂 良恵さん



小田 光信さん



大森千鶴子さん



(石田運営委員長)



(三人のパネラー)



(藤原英一理事長)



平野フジエさん



香川 柳市さん



伊林 丈夫さん



鴛海 高子さん



長井富貴子さん



川浪マサエさん



岡田 友江さん



坂梨 明美さん



山家野カメ子さん



菅原貴美子さん



久保 知香さん



お多福



岩崎 温子さん



ひまわりの皆さん



福井 ミエ子さん



宮崎美佐子さん



廣渡 悦子さん



薄 ヨネ子さん



島田富士子さん



上森美津子さん



菅原 貴志さん



宮崎さん



(フラダンス)



(和太鼓)



(利用者の方々の作品)



吉武シゲ子さん



林 シゲノさん

石橋照子さん(直方支部)

高齢者の住まいの問題について考えています。阪神大震災の時、高齢者が集って住むアパートの話が出ていました。昼はフロアで皆で過ごし、夜は自分の部屋で過ごす。看取りが無くても孤独死ではあっても、朝には誰かが気付いてくれる。その安心感が必要だと

石田幸生さん(直方支部運営委員長)

現在、ふくし生協は十億円の売り上げがある。今年の事業高の内一億七千万円は事業投資に予定されている。売り上げが再投資されているということ。なおかつ三千万円の剰余があるが、これは職員への処遇改善に使われている。資金剰余を事業投資として還元し、給与の改善、さらに各地の地域づくりに還元している。つまり、全ての組合員や地域に還元しているということ。これを皆さんに伝えたいと思いました。



吉田 妙子さん



平松ミチ子さん



大森 千里さん



岡 美代子さん



神村 優さん



青木由紀子さん

板山一子さん(夢ひろば事業所)

支部運営委員会の取り組みについて述べます。これまで五年間やってきた夢まつりの実行委員で「夢つどいの会」を発足しました。高齢者にとって一年の内でもっとも淋しいという十二月三十一日の大晦日に、年越しソバと歌と踊りで過ごしてもらおう企画を進めています。個人的なつながりも生かしながら組合員同士の輪を広げる活動で、今その準備を始めています。▼十二時四十分、以上で「ふくし生協フェスタ二〇一一」の第一部(午前の部)が終了。会場は三百人超の参加者で満員状態。今回は初めてのパネルディスカッションは盛会の内に終了しました。



花田 悦子さん



ミツ岡 シヅ子さん



鵜籠 千歳さん



大坪 春子さん



宮崎 賀代さん



斉藤フミヨさん



(コーラス)



(矢切りの渡しの二人)



(ひょっとこ踊り)



宮崎 賀代さん



ヨシコさん



安藤 純子さん



山崎 春雄さん



吉住 操さん



たんぼぼさん



山元 照子さん



小田ミツアさん



西村 政子さん



加賀田千代子さん
西村 政子さん



日野 得子さん



内藤 初妃さん



木下 卓而さん

**第二部 「午後の部」
組員交流パーティー**

▼十二時五十分、ホテルのロイヤルホールにて、おまちかね第二部の組員交流パーティーの開始です。毛利実行委員長が賑賑しく開会を宣言。オープニングを飾ったのは子ども達による和太鼓「濤懸(なみかけ)はまゆう太鼓(折尾)」。

子どもとはとても思えない力強い和太鼓の響きがホール一杯に広がりパーティーの始まりを告げて、あつという間に祭りの雰囲気を作ってくれました。

次に長谷副理事長による「大震災にめげずガンバレ東日本!」の乾杯で、昼食歓談に入りました。会場の入口には利用者たちが作った貼り絵などが飾られ、会場後方には五事業所の利用者さんの作品がバザーとして出品されました。

▼十三時四十分、四事業所からご自慢のアトラクションの披露です。初めに夢ひろば事業所から優雅なフラダンス「カホロ」が登場。ハワイアンのメロディに乗って、あでやかな衣装が目を引きました。次に登場は宗像福津事業所の「ひ

よつとこ踊り」。ユーモラスな仕草と踊りに会場は笑いの渦です。続いて「直方なつみねシスターズ」が矢切の渡しメロディで妖しい色香を発散、芸達者のお二人でした。四番目は介護職ならではの優しい歌声コーラス「ハート&ハート」ぬくもり事業所の方々。

多忙の中で練習を重ねられたとのこと。美しい声がか会場一杯に流れ、全員聴き入りました。

▼十四時二十分、福祉川柳と笑顔写真コンテスト結果発表です。写真は八十二点応募者全員入選です。川柳は三十七句の投句があり、結果は下段のとおりとなりました。

パーティーの最後は皆様御期待の福引き抽選会。当選番号発表のたびに会場からタメ息が洩れ、一等賞のデジカメはけいちく事業所・加治さんのお嬢さんが獲得です。

▼十五時三十分、参加者全員で炭坑節を踊り、赤とんぼ・里の秋を合唱してフィナーレとなりました。

▼来年の第三回目は六月二日(土)の全国総会(福岡会場)に合流開催が決定しています。

(写真・畑山・西田) (記録・三枝・山下(な)) (文・西田 治)

「笑顔写真コンテストの講評」

高齢者の笑顔に甲乙はつけられません。全員入選です!

(フェスタ副実行委員長・杉谷 岩彌)

二〇一一年

福祉山柳コンテスト入選作品

二〇一一年九月十八日発表

川柳くろがね吟社同人 古野つとむ選

最優秀賞 「また来てね」ハートほっこり帰り道

八幡西区 戸畑ヨシエ

優秀賞 言葉なきあなたの想い目にあふれ

八幡東区 迫田 幸江

優秀賞 噛み合わせぬ会話それでも楽しいな

宗像市 永松 明美

優秀賞 こんにちははあなたに会えて良かったわ

八幡西区 小畑美智子

秀 作 おしゃべりの中に本音をかいま見る

福岡市南区 梶原 健ケン

秀 作 訪問で地デジの文句言われても

三重松坂市 間柄 和也

秀 作 背をさすり部屋を出るとき拝まれた

宗像市 上田 和江

秀 作 リハビリで白髪も黒く活性化

宗像市 薄 妙子

秀 作 片手そえもろ手を添えてヨイコラショ

行橋市 西岡 陽

事業所だより

夏祭りの目玉
ソーメン流し
ぬくもり事業所



八月九日(十一日)、
当事業所では夏祭り
を行いました。今回
の目玉は「ソーメン
流し」です。某施設
さんの御好意で全長
七メートルの青竹加
工の樋をもらい受け
当事業所初めてのソ
ーメン流しを実施し
ました。とはいえ、
普通の民家の当事業所「そげな長
いモンは部屋に入らん。」「こげな
猛暑時に外で出来んバイ」等と様々
な意見の
結果、青
竹樋の端
を縁側か
ら出すと
いう事で
部屋の中
ですること
が出来
ました。
本番で
は最初、
傾斜した

樋からユックリ流れていた麺が、
徐々に加速して箸でつかみそこな
う利用者続出。おまけにせっかく
つかんだ麺がツユタレに入れる寸
前にツルリとすべり落ちる場面も
あり、あぁー…。
和風の趣などどこへやら、スリ
ルと緊張感いっぱいソーメン流
しとなりました。
この夏のひととき、一服の清涼
感のあるソーメン流し。参加の皆
様方、楽しんでいただけたのでし
ようか。
(記・蓮池昭浩)

ウォーターキッズとほのぼの祭り けいちく事業所

八月のほのぼのくらぶは、まだ
まだ残暑厳しい中そうめん流しを
しました。あいにくその日は朝か
ら大雨。できないかなあとと思って
いましたが、予定時刻が近づくと
晴れ間ものぞき、気温もグンゲン
と上がってきました。予定通り楽
しみにしていたプールも出来て、
子どもも親もスタッフも楽しいひ
ど時になりました。月に一度のほ
のぼのくらぶも参加者が徐々に増
え、今後の活動にも力が入ります。
また、京築支部運営委員会では、
十一月の『第四回ふれあいほのぼ

の祭り』に向けての準備が始まり
ました。今年も地域の方々が大勢
お越しいただけるよう、委員長は
じめ実行委員一同、その準備に力
を合わせて頑張っています。
(記・砂川浄子)

「百歳を迎えて」香川柳市さん 夢ひろば事業所



「夢ひろば」で最高齢の香川さん
は、明治四十四年生まれでもうす
ぐ百歳を迎えられます。
手先が器用で芸術肌の香川さん
のお部屋はデイサービスの作品で
びっしりと埋め尽くされています。
デイサービスでは教師や芸能界
の経験を生かして音楽指導等も積

極的になされています。当時のお
話も記憶鮮明で、人生の浮き沈み
の実体験も語られます。
健康にもご自分の考えを持たれ
常に歩くことを信条とされていま
す。そんな香川さんの姿勢はとて
も真つ直ぐで杖もつかわれていま
せん。我々職員には、時には厳し
く時には満面の笑顔で接して下さ
り人生の大先輩としてご指導下さ
います。

「百歳は通過点」と言われる香川
さん、これからもどうぞお元気で
明治男の心意気を見せて下さいね。
(記・金井有三)

『ある午後のひとこま』 宗像福津事業所(たんぽぽ)

「アレをかけてちょうだい」とY
さん。昼食が済むとすぐテレビの
前に座ります。それ続けとばかり
に他の利用者もテレビの前に総移
動。透かさずスタッフの声。「ま
だ仕事が残ってますよ。うがい、
ハミガキは?」「あつ、そうでし
た。」そんな会話の中に笑いが生
まれ、利用者は急々と食事の片付
けをして下さいます。さあ、準備
万端。いよいよアレです。「きみ
まる」の登場です。皆さんテレビ

に釘づけで待ってましたとばかりに、大声で腹をかかえて笑う姿が「たんぼぼ」いっぱいに響き渡ります。笑うこと、笑えることの幸福をしみじみ感じるひとときです。フエスタの準備に追われながら、完成間近の制作物を横目に今日もきままるの「あれから四十年：」、利用者者の笑い声がスタッフの笑い声と共に「たんぼぼ」に大きく響き渡るある午後の幸福のひとときです。

(記・吉武結花)

「ひゃくさい」踊り
宗像・福津事業所

今年の四月より新規事業所としてスタート

した宗像・福津事業所は「ひょつとこ踊り」で、フエスタに参加させて頂きましたが、皆さん楽しんで頂けましたか？
今回は組合員さんと



職員の一丸となった練習風景を点描します。私はオカメ役でした。このオカメは指南役の方が「オカメは音楽に合わせて、体を動かせばいいのよ」とおらかな指導でした。そこで体を「アホの坂田」みたいに踊りながら、他の方を観察すると、「Yさん、うまいなーひょつとこが憑依してるでー」とか「さくらのAくん鏡に映った自分を見ながら練習してるなー熱心」とか思いつつ、ふと全体を見渡すと、フエスタの参加者を楽しませようと練習に意気込む組合員さんと職員の方々。真剣な練習態度の中に笑い声と笑顔があふれ、心が一つになった練習風景でした。その皆さんの笑顔は副所長を筆頭に「お面なんていらなくらい」と思えるほど素敵でまん丸い笑顔が印象的でした。

(記・高田朋之)

「初めての夏祭り」
青葉事業所

まだまだ残暑厳しい九月半ばに初めての夏祭りを催しました。スタッフはハッピーを着て手作りの飾り付けや、ゲームで利用者さん達はお祭り気分です。



まずは魚釣りゲームやクジ引きと綿菓子体験などを楽しみました。特に魚釣りゲームは、みなさん一生けんめいトライして、いつにない

達成感と満足感で笑顔が溢れていました。ゲーム後の昼食は、焼きソバやタコ焼きなどを味わい、緑日ならではのメニューに「たまにはこういうのもいいねー」と好評でした。あつという間の一日でしたが、皆さん方、昔懐かしいお祭りの話などで会話が弾み楽しいひとときを過ごしました。

(記・高尾幸子)

地域密着 楽しかった町内夏祭り
第十四回ミニミ杯グラウンドゴルフ大会
福岡事業所(ミニミ拠点)

▼八月六日(土)、南区野多目町内の「恒例夏祭り」が開催され、ミ



ナミ事業所も町内のよしみで今年も「イカ焼き」で協力参加。会場の公園内も町内の人々で満員状態。イカ焼きも開始五分

で完売、嬉しい悲鳴を上げました。地域の盛り上げに貢献できた楽しい一日でした。

▼九月十一日(日)晴。南区皿山中央公園を会場に恒例のグラウンドゴルフ大会を開催しました。高齢者の十チーム七十人が参集、熱戦が展開されました。この大会は春と秋の年二回開いているもので今年で十四回目。これは地域の高齢者とスポーツを通じて親睦を深め、併せてミニミ事業所の活動をアピールするのが目的です。

午後から表彰式を兼ねての昼食懇親会。女性スタッフの手料理を味わいながら、全員満足顔の楽しい一日となりました。

(記・長谷健司)

本部事務局 だより

この間の理事会で承認した案件につきまして、簡潔に報告いたします。

(一) けいちく事業所隣接の「ほのほの生協ホーム」の活用計画

このたび取得しました住宅は「ほのほの村」の隣接施設として、求職者支援訓練教室・親子の集い・学童保育など、多目的用途の活用が検討され大いに期待されています。

(二) 北九州統括事業本部「夢千帆」がいよいよ始動 本部長に森元茂利常務理事

かねてより準備中の北九州統括事業本部が七月一日から業務を開始しました。新事務所も八幡西区に開設。新しい人事体制のもと、その活動に期待がかかります。

(三) 小倉北事業所の開設計画 (十一月二日の開所を目指す)

北九州市内にあって、当生協施設の空白地域に事業所開設の計画があります。場所は小倉北区区内。十二月一日開所予定で今その準備が進行中です。

(四) 水巻事業所(赤とんぼ通り)第3デイサービス赤とんぼ開設及び生協ホーム計画

先に入手した四軒目の改修工事を行い、「三つのデイサービス」に対応する泊まり・グループリビング用に供する「生協ホーム赤とんぼ」として運用が計画中です。

(五) 宗像福津事業所(宗像拠点)の事業拡大

現在のさくらデイサービス日里(宗像拠点)の利用者の増加と宿泊事業の定員限度に伴い、事業拡大の対応が急がれ、市行政とも相談し現在進行中です。

(六) 青葉事業所の拡張移転計画 (現在計画進行中)

当事業所は旧東事業所から分離独立して五年が経過。利用者も増え看取りも視野に入れた取り組みが重要となり、お泊り体制も含め拡張移転計画が進行中です。

(七) 福岡事業所東拠点・第3もやいの家 開設計画(十一月二日開所予定)

第2もやいの家の利用者増に伴い、新しい拡充の流れとして三番目のデイサービス事業を開設するもので、職員もヤル気充分、その準備も進行中です。

(八) 福岡事業所ミニ拠点の総合移転 (居宅・訪問・通所)の事業計画 (十一月二日開所予定)

来年二月の指定更新を機に、法令遵守が厳格化したことや自宅との併用をやめて、新しい移転先に居宅・訪問・通所の総合移転を決定。今その準備中です。

(九) 二つの実行委員会を設置

①劇団前進座八〇周年公演の実行委で福岡・北九州・田川・大牟田公演も視野に入れて取り組みます。
②日本高齢協連合会福岡総会への実行委員会。来年六月二・三日の開催に向けて動き始めました。

『新たな人材育成にむけて』

人材育成の方針を基に、開講してきた基金訓練も福岡で三回、北九州で一回の講座を終えました。結果、当生協へは十八名が就職し、本部を含めた九つの事業所で活躍しています。全体では九十三・三％という高い就職率を挙げました。十月から国の制度改正で「求職者支援訓練」と名称が変わりました。十一月スタート予定の福岡講座をはじめ、北九州や各地域でも順次開講する予定です。そこで、今回は生協に就職された卒業生の声を紹介します。
『訓練の実習ではたくさん

「さいたま高齢協から横山貴之さんが来福！」 (福岡での1ヶ月研修の一口感想)

はじめまして、私は9月15日より福岡県ふくし生協本部にて「けいちく事業所」を中心に研修をさせていただいております。宅老所第二ほのほのほうでは現場実習も体験したのですがその感想の一端を述べたいと思います。
ここ「第二ほのほのほう」のご利用者の皆様の明るい笑顔と、スタッフの方々の楽しいコミュニケーションのもと実施されている日常動作のお手伝いは介護現場と同時に大家族の協同生活の中の自然な助け合いだと感じております。地域の信頼、ご利用者、ご家族、スタッフから生まれたこの大家族の実習生活をしっかりと学んで埼玉に帰ります。ありがとうございました。



経験をする事ができました。再就職するには厳しい年齢でしたが、実習先に就職する事ができました。ひとつひとつ可能性の広がりも感じていきます。家に帰ると孤独で寂しい利用者さんが「だんぼぼ」におると楽しい」と言っていて笑ってくださいます。その笑顔が、やりがいを感じる瞬間であり、働く上での大きな喜びになっていきます。ふくし生協の基金訓練を受けたからこそ今の私があるんだと思っています。(宗像福津事業所：百名みどり) 今後多くの人材を育成できるように取り組んでまいります。

(本部) 山下敦史

読者の声

▼酷暑の中、節電・省電で大変でございましょう！どうかお身体を大切になさって、この夏を乗り切ってくださいませ！水分補給をおこたりなく、そして程々の休養をお取りになつてネ。

▼いつも「ひやくさい」を送って

くださつてありがとうございます。アイドル自慢のワンちゃんに癒されました。年金のこと等、いろいろな情報がわかり、参考になりました。(糸島市・豊増修)

▼「ひやくさい」を楽しみに読んでますよ。少ない年金「下がりました!」。食料品等はむしろ物価高と感じている日々です。(東区・菊川ゆみ子)

▼「クロスワード」当選による「Q

UOカード」を拝受しました。クロスワードの懸賞に当たったのは初めてなので嬉しく思いました。猛暑のみぎり、みな様お体ご大切にどうぞ! (中央区・永住英子)

▼今回、四人の読者様から温かいお便りを頂きました。編集の重みを感じました。頑張ります。ありがとうございます。(編集委員会)

(みなさまからの) お便りをお待ちします

「ひやくさい」を読まれた皆様からのお便りをお待ちしています。当ふくし生協本部や編集委員会へ、ご意見やご感想をお寄せ下さい。「読者のページ」で紹介させていただきます。

クロスワードパズル

3

1	2		3	4	5	
11			13			
12		8		14		10
		17				
6	7			18	9	
15				19		
16						

▼タテ、ヨコの《カギ》に従ってマス目に言葉を入れてください。すべてのマス埋め終わったら、二重マスの中の文字を並べ替えて、(ヒント)にふさわしい言葉を作ってください。それが答えです。

〈ヒント〉最近、ジョニー・デップ主演の映画で有名。ドクロマークが…

- 1 当生協本部のあるサカタビルもこの警備会社です。
- 2 世界記録を次々とぬりかえた鳥人。
- 3 「蜘蛛の○○」「赤い○○」。
- 4 インスタントカレーなどこの容器が多いですね。
- 5 美容室で見かけます。
- 6 「シャンプー、カット&○○」。
- 7 色がさめて薄くなります「色○○」。
- 8 ホテルは一人部屋がシングル、ベッド二つの二人部屋は?
- 9 水におぼれて死んだ者。
- 10 凹凸。「おう○○」。
- 11 「ハートブレイクホテル」などアメリカの歌手「エルビス○○○○」。

- 1 当生協本部はこのコンビニの二階にあります。
- 2 EXILEのヴォーカル。本部にも同じ名前の職員がいます。
- 3 「○○とりじいさん」
- 4 百足と書き、咬まれるとメツチャ痛い。
- 5 アニ映画「となりの○○」
- 6 輪。環状。○○橋。
- 7 生きていること、死ぬこと。
- 8 当生協本部の住所
- 9 「福岡市博多区○○○○三三三」
- 10 表地と裏地の間に薄い綿を入れ、重ねた状態で指し縫いしたもの。パッチワーク○○。
- 11 ギリシャ語。強烈な情感のような。時的な持続性のない内面的感情。
- 12 季節の○○○変わり、天気○○○変わり。

《ヨコのカギ》

◆五十二号クロスワードパズル当選者

- ・香月 文子さん (遠賀郡水巻町)
- ・菊川ゆみ子さん (福岡市東区)
- ・豊増 修さん (糸島市)
- ・東 玲子さん (田川郡川崎町)
- ・山西百合子さん (行橋市)

完成した言葉をはがきに書いて、「ふくし生協・編集委員会クロスワードパズル係」まで11月30日必着。正解者の中から抽選で5人にQOO(クオ)カードを送ります。

※出題者「西田 治・本部職員」



三浦弘子(水巻町)



成田カオル(水巻町)

みんなの
文芸
広場

ご投稿ありがとうございます。
今回は、絵ハガキ・書・川柳・
絵画・写真です。



吉住智江(水巻町)



坂元雅子(水巻町)

福祉山柳 本田きみ江(糟屋郡久山町)
足浴に気持ちいいねと目を細め
お散歩にお手々つないで空の青
ロシア行きタオル手ぬぐい腰につけ

ニュース山柳 松原 健(福岡市南区)
三匹目ドジョウが出て来てコンニチハ
三度目の正直なるかドジョウ顔
味いかにゴツタ煮のごとドジョウ鍋
欲深しとなりは疑惑のある人ぞ



福岡事業所「西南」原さん家



福岡事業所「西南」原さん家

これからの主な行事

- 11月6日(日) けいちく事業所 「第四回ほのぼの祭り」
- 11月13日(日) 水巻事業所 「赤とんぼ祭り」
- 12月31日(土) 夢ひろば事業所 「夢つどいの会(年忘れパーティ)」
- 来年1月予定 夢ひろば事業所 「夢ひろば10周年記念祝賀会」

ふくし生協つばやいたい募集
あなたの「つばやきを聞かせてください。」
内容は自由です。
送信先
tsbuyaiaita@fukushiseikyoku.jp



松尾ヤス子(水巻町)



(枯葉に彩られた屋根瓦のコントラストが…)